

1. 単元名 体育理論—スポーツの多様性

2. 単元の目標

運動やスポーツは人々の多様な必要性や独自の楽しさによって支えられ発展したこと、運動やスポーツには、する、見る、支える、知るなどの多様な関わり方があること、体を動かす楽しさや運動やスポーツの特性や魅力に応じた楽しさ、人々と協働する楽しさなどを味わう多様な楽しみ方があることを理解する。 (知識・技能)

運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えること。 (思考・判断・表現)

運動や、スポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと。

(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

生涯にわたり豊かなスポーツライフを送るためには、運動やスポーツの必要性や楽しさを理解することが大切である。また運動やスポーツには、する、見る、支える、知るといったかかわり方があること、運動やスポーツについて調べることもかかわり方の一つであることを理解させる。さらに、運動やスポーツには、その領域や種目に応じた技術や作戦・戦術、表現などを身に付けるための学び方を理解できるようにする。また、全ての人が楽しめるスポーツの在り方を考えスポーツに親しむことができるようにする。

(2) 生徒観

本学級は女子生徒29名(特別支援学級生徒2名を含む)の保健体育授業クラスである。規律ある落ち着いた授業態度で授業に参加し、課題意識を持って体育の授業に取り組むことができている。しかし、自分の考えをまとめて発表することが苦手な生徒が多く、授業中の発言も一部の生徒に偏りがちである。本学級の生徒は、体育理論の学習をするのは初めてである。10月に行った「体育理論」に関するアンケートでは、「運動やスポーツをすることが好き」と言う質問に対して、57%の生徒が「はい」と回答している。また、「運動やスポーツはあなたと成長させる」という質問に対して、61%の生徒が「はい」と回答している。このアンケート結果から、運動やスポーツに対して苦手意識を持ち好んで行っていない生徒が4割近くいることが分かる。また、スポーツをすることの大切さを感じ取れない生徒が多くいることが分かった。最後に本単元で取り扱うパラリンピックについて「パラリンピックを見たことがある」という質問に対して57%の人が「はい」と回答しており、半数以上がパラリンピックの存在について認知している。

### (3) 指導観

本単元の指導にあたっては、スポーツや運動に関心が高い生徒にも、関心をもっていない生徒にも、運動やスポーツの多様性や多様な楽しみ方に気づくことができるように教材や学習形態の工夫をしていきたい。生徒にとっては体育理論の学習は初めてである。生徒が意欲的に学習できるように、体育大会などの経験を振り返ったり、生徒が興味・関心をもっているオリンピックの内容を扱ったりしていきたい。本単元については初めに、スポーツには、する、見る、支える、知るといったかわり方があることを理解させる。次に、パラリンピックについて iPad を使って調べさせ田隈中でパラリンピックを開催するためにどんなことが必要かを考えさせる。その際、全ての人、安全に楽しく行うことができる工夫という視点で考えさせる。さらに、それらの工夫を踏まえて、実際にスポーツをアレンジさせる。最後に自分たちでアレンジしたスポーツを実際に行い工夫として良かった点や改善点を話し合い全ての人、安全に楽しく行うことができるスポーツの形を目指していく。

### (4) ESDとの関連

#### ①本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性・・・生涯スポーツと健康は密接に繋がっており、中学生の時期だけではなく生涯に渡って豊かなスポーツライフを実現することで健康に対する意識を向上させること。

責任性・・・多くの健康課題がありその解決に向けて、全ての人、安全にスポーツを行いスポーツの楽しさを感じ、生涯に渡って続ける必要があること。

#### ②本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・生涯に渡ってスポーツをしようとする態度

生涯に渡ってスポーツを続けるためにはどんな工夫が必要か、またどんな態度でスポーツに取り組むことが必要なのか。

- ・多様性を認める力

スポーツには様々な行い方、在り方があることを認め、広い視野でスポーツを見つめることができるか。

- ・コミュニケーション能力及び創造性

スポーツの在り方を話し合い、全ての人、安全に行えるように既存のスポーツをアレンジする、もしくは新しいスポーツを作り出す。

#### ③本学習で変容を促すESDの価値観

- ・健康の保持増進

生涯に渡ってスポーツに親しみ健康に生活していくためにスポーツの在り方を考える。

- ・インクルーシブの視点の確立

障がいがある人もない人も共に公平で安全に楽しめるスポーツという視点を考える。

#### ④達成が期待されるSDGs

- ・ 3 全ての人に健康と福祉を
- ・ 10 人や国の不平等をなくそう

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>②世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることについて理解したことを言ったり書き出したりしている。</p>	<p>①運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。</p> <p>②パラリンピックについて調べたことをもとに、全ての人が安全で楽しく行うことができるスポーツの工夫について考え他者に伝えることができる。</p>	<p>①運動や、スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組むことができる。</p> <p>②アレンジしたスポーツを積極的に行い課題の改善に向けて仲間と話し合うことができる。</p>

#### 5. 単元の指導計画（全4時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>○教科書の内容をもとにスポーツには多様な関わり方があることを知る。</p> <p>・スポーツには、すること以外に「見る」「知る」「支える」といった関わり方がある。</p> <p>○自分が今までにどんな形でスポーツに関わってきたか。</p> <p>・練習試合で審判をした。</p> <p>・プロ野球の観戦に行った。</p> <p>・車椅子バスケットボールについて調べた。</p>	<p>・オリンピック、パラリンピック、高齢者が行うスポーツ大会の動画を視聴して動画の中にいる人たちの役割からスポーツへの多様な関わり方を理解させる。</p> <p>・自分が今までどんな形でスポーツに関わってきたかを話し合わせることでさらに具体的にスポーツの関わり方について考えさせる。</p>	<p>△ア①</p> <p>△ア②</p> <p>△ウ①</p>
2	<p>★田隈中でパラリンピックを成功させるためにはどうしたらいいか考える。</p> <p>○パラリンピックについて調べる。</p> <p>・パラリンピックとは？</p>	<p>iPad を使って調べさせる。</p>	<p>△イ①</p> <p>△イ②</p> <p>△ウ①</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや場の工夫がありそう。</li> <li>・関わっている人はどんな人？</li> </ul> <p>○安全に楽しく行うにはどんな工夫がされているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かなルールが徹底されているね。</li> <li>・障がいを持っている人も持ってない人も共に楽しむことができる行い方があるね。</li> <li>・応援をすることで楽しめるね。</li> <li>・生涯を通して楽しめるね。</li> </ul>	<p>パラリンピックで活躍している選手や、高齢者のスポーツをしている話を聞いてパラリンピックや高齢者スポーツをさらに深く知り、様々な楽しみ方や工夫がされていることを知る。</p>	
3	<p>○全ての人が健康で安全に行えるスポーツはどのようにして生まれたのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を通して楽しめるという視点でつくられた。</li> <li>・障がいのある人もない人も共に楽しめるという視点でつくられた。</li> <li>・差別や、偏見をなくそうという考えからつくられた。</li> </ul> <p>★スポーツをアレンジしてみよう。</p> <p>○スポーツをどんな行い方にアレンジしたら、全ての人が楽しめるだろうか考える。</p>	<p>車椅子バスケットボールを例に出してスポーツをアレンジすることの見通しを立てさせる。</p>	△イ②
4	<p>★アレンジしたスポーツを実際にやってみる。</p> <p>○アレンジしたスポーツを班ごとに発表して実際に行う。</p>	<p>場所、ルール、時間などに留意して行わせる。</p>	△ウ②